

## 組織全体支援のデザイン（1日目）

<リスク>

家族からの訴訟請求リスク

マスコミ報道；パワハラと不用意にむずびつけられる（市長トップへのリスク）

震災が関係すると大きく報道される可能性

組織への不満：情報の共有が少なく自殺の原因も知らされない

組織は隠ぺいしようとしているのではないか

家族に対する対応はどうなっているのか

自殺だったことを公表しないのはなぜか

人員が少なく業務過多であったのでは？また、人員補充はどうなるのか

人間関係リスク：自殺について話してはいけない雰囲気

上司（C専門官）によるパワハラがあったのではないか

パワハラの場合は処分などがあるのか

傷病リスク：2段階職場（いつも忙しい）、疲労の蓄積によるうつ発症

退職リスク：2段階職場（いつも忙しい）災害が多発し万全の対応を求められるので、心理的負担が大きい職場

仕事の偏り、Aさんが亡くなったことで人手が減り、更に忙しくなる。

惨事反応リスク：悲惨な現場（血）を目撃した人、対応した職員の反応

就業上の問題：研修所に行けない、行きたくない職員の増加

新規採用への影響：パワハラ、業務多忙のいずれにしても入庁者減につながる可能性

<素朴な疑問>

Aさんは何故自殺したのか

- ・就職、結婚など良いことが続いているのに、なぜ自殺したのか
- ・石川県への派遣で何かあったのではないか
- ・指導者であるC専門官からのパワハラはあったのか
- ・2月以降、たびたび課長と面談を行っていたのは何故か
- ・過重労働があったのか
- ・遺書はあったのか？
- ・家族がいるのにどうして
- ・震災による影響はあったのか、あったのであれば公務災害になるのか

発見時対処は万全だったのか？

見つかった時はどんな様子だったのか、応急処置は適切だったのか

葬儀には県庁から誰が参列したのか

このままだと第2第3のAさんがでるのではないか

家族から訴えられることはあるのか

自分の今の体調不良は今回の事と関係があるのか、ずっと続くのか

職場の雰囲気の悪さはいつまで続くのか

## <支援メニュー>

- 1日目 挨拶 支援目的調整面接 アンケート（研修生全員）  
惨事後M（危機管理課職員）  
個別カウンセリング（危機管理課職員）
- 2日目 A S R心理教育（オンライン教育・録画して全員視聴）  
個別カウンセリング（希望者、要望があればご遺族のカウンセリング）  
惨事後M（研修生等）  
ストーリー説明  
人事厚生課長へのフィードバック

### <ストーリー案>

環境の変化（県庁への就職）による心理的負担  
危機管理業務に対するプレッシャー（県民の期待）  
当直業務や繁忙期における疲労の蓄積  
ライフイベント（結婚準備・入籍・転居・結婚式）による疲労の蓄積  
父親の病気による心理的負担  
能登半島への災害派遣を通じての無力感、自責感←これをメインに説明  
過剰な無力感から異動を願い出たが、叶わなかったことによる不安感の増大